

## 2026 年度 大学入学共通テスト 英語 リーディング(本試験) 分析

試験時間 80 分

難易度	出題分量	出題傾向
やや易化 第1～4 問: 捻りの少ない簡単な文と設問で得点しやすい。 第5～8問: 例年並みの標準的な文章だが、一部設問が求めている内容を読み解きにくい場面有り。	変化なし メッセージのやり取りやチラシ、申込フォームなど生活に密着した文章やイラスト、グラフを読み取る問題、エッセイや評論文まで、例年並みのラインナップであった。語数も大きな変化はなし。	軽微な変更 本文の内容を時系列に並べるタイプの設問が複数出題された。旧センター試験では定番だった、選択肢 1 文を本文のどこに差し込むかを問う問題も復活した。
<b>総評</b> 昨年同様、全体構成が第 8 問までとなり、処理しなければならない文章が多く、集中して読み・解き進める必要があった。出題パターンも若干変更されたが、全体を通して難易度の高い単語や言い回しはほぼ無く、読み進めやすい文章ばかりであった。一部、設問文や選択肢に注意して読むべき部分はあったが、大きく引っ掛けるような設問はなかった。特に第1～4問は難易度が低く、短時間で全問正解が可能。高い英語力というよりは簡単な文を読んで短時間で素早く情報処理をしていく力が求められている。第 7 問で若干読みづらい部分や単語もあるが、普段から真面目に単語力を強化し、基礎力を固めている受験生であれば高得点が可能。		

### 大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	設問別分析
第1問	ダンスの衣装相談チャット	6点	ダンス部の部員たちがステージ衣装についてチャットでやりとりする。複数人が様々な意見を出し合うが、内容は分かりやすく英文も容易。選択肢にイラストもあり。問題文が求めていることを読み逃さなければ全問正解が可能。
第 2 問	大学の寮(宿泊施設)についての調査結果	12 点	大学事務局が学生寮について行なった調査結果の内容と、寮に関する意見を述べた 2 人の学生のコメントを読み解く内容一致。④については事務局の「意見」を問うもので、本文中に示される「事実」と区別する必要があった。

第3問	ワークショップについてのエッセイ	9点	筆者が参加したワークショップでの出来事について書かれたエッセイに関する内容一致問題。出来事を時系列で並べる問題あり。
第4問	英語クラブの記事に対する顧問からのコメント	12点	英語クラブが参加するエコ週間イベントに関する記事に、顧問が修正点コメントを書き込んだ形式の文を読み取る。修正した結果どのような文に変更するのか等を問われる。
第5問	図書館からお勧め本とボランティアを募るチラシ	16点	Readburgh の図書館で行われる絵本イベントについて、お勧めの絵本とボランティアを募集しているチラシ、および申込書、返信メールを読み解く。設問に求められる情報が3点にまたがっており、丁寧に読んで解答する必要がある。選択肢から複数を順不同で答えさせるタイプの出題もあり。
第6問	おにぎり屋の思い出に関するエッセイとそのあらすじ	12	学生時代に通っていたおにぎり屋とその店主との思い出を綴ったエッセイを読んで、あらすじのワークシートを埋めていく。第3問同様に時系列で出来事を並べる設問あり。
第7問	Mind-Wanderingについての評論	16点	Mind-Wanderingについての評論文を読み、内容をまとめた発表のためのスライドを完成させていく。スライドに記載されたキーワードから、本文のどこに解答根拠があるのか探しやすいが、「Mind -Wandering の恩恵を受けやすい生徒を選べ」という根拠の見つけにくい設問もあり。
第8問	スポーツとテクノロジーについてエッセイを書くための、3つのステップ	17点	「スポーツとテクノロジー」についてのエッセイを書くための3ステップが示されている。複数人の意見を読み解いたうえで自分の立場を示し、別の資料を読んで、その立場を取る理由を検討していく。資料の一部にグラフあり。「全員が」「〇〇%が」「半分以上が」などの表現をしっかりと確認しながら選択肢と照らし合わせる作業が必要。

#### 来年以降の受験生へ ワンポイントアドバイス

近年の共通テストは、難易度の高い文章を読ませるものではなく、比較的簡単なエッセイや会話、評論文を速いスピードで理解する必要があります。パズルのように設問の解答に該当する箇所と照らし合わせる作業がメインとなっています。明らかに時間配分と集中力が勝負の試験といえるでしょう。1, 2年生のうちからしっかりと基礎的な単語・熟語力を身につけ、たくさんの文章をどんどん読み進めるトレーニングをしておきましょう。